



事前に思考ツールで考えを整理し、自分の意見と友達の意見の共通点と相違点を意識しながら、合意形成する

中学校第1学年 学級活動（1）「合唱コンクールを成功させよう」

■本活動のねらい

学校全体で行う合唱コンクールを成功させるために、学級で大切にしたいことや大切にすべきことなどについて考え、学級として取り組むべきことについて合意形成を図ることで、学校生活の向上を図る。

■本活動の概要

合唱コンクールの成功に向けて大切だと思えることを生徒一人一人が順序付けて考えを整理するため、思考ツールの1つであるダイヤモンドランキングを活用して、合意形成を図った。

■本活動の指導計画（3時間）

事前の活動

- ・学級活動委員会が議題を選定する
- ・学級全員で議題を決定する
- ・学級活動委員会が活動計画等を作成する
- ・端末を活用して学級全員の意見を聞く
- ・提出された意見を全員が事前に確認する

本時の活動

「合唱コンクールを成功させよう」

- ・学級として取り組むべきことを決める
- ①自分が大切にしたいことは何か
 - ②学級として大切にすべきことは何か
 - ③学級として何にどのように取り組むべきか

事後の活動

- ・合唱コンクールの練習で決めたことを行う
- ・振り返りを行う

■指導計画の概要

教師の適切な指導の下に、学級活動委員会が学級としての議題を選定し、学級全員で決定する。さらに、学級活動委員会は、活動計画等を立て、端末でアンケートを作成し、学級全員の意見を集める。提出された意見は、学級の全員が事前に確認できるようにする。

合唱コンクールを成功させるために学級として何にどのように取り組むべきかについて、端末上で作成したダイヤモンドランキングを活用して資料を作成し、その資料をもとに話し合い、合意を形成して決定する。

生徒が合意形成に基づいて協働して取り組むとともに、一連の活動を振り返り、次の課題解決へとつなげる。振り返りでは、合唱コンクール後にもう一度ダイヤモンドランキングを活用して話し合いを行い、改めて学級で大切にしたいことやすべきことなどについて考える。

■資質・能力が育成され「深い学び」が実現している子供の姿（本時の活動）

【学習活動の場面】

ハーモニーや音量、音程などの「技術」に関する項目と、思いやり、友情、団結力といった「人間関係」に関する項目を、一人一人が考える優先順位に従って図示化したダイヤモンドランキングを作成した。それを共有・確認して**個人で学級の行動宣言案を作成**、全体で発表することで他の生徒が大切にしたいこと等を知る。その後、**小グループでの対話を通して、改めて学級全体で行動宣言を作成**していく。

【子供の「深い学び」の姿】

合唱コンクールを成功させるために学級として取り組むべきことについて、**端末上でダイヤモンドランキングを作成し、それをもとにして学級の「行動宣言案」を作成**した。

ダイヤモンドランキングでは、Aはハーモニーや音量、音程などの「技術」に関することを上位に選んだ。Bは思いやり、友情、団結力といった「人間関係」に関することを上位に選んだ。**ランキングはクラウド上で瞬時に共有**され、AとBは自分の作成したものと正反対の互いのランキングが気になっていた。

教師は、自分と異なるランキングを作った生徒の意図を確認するよう指示をした。すると、**Aは「音程を意識することで、一体となって楽曲のテーマを意識すること」、Bは「心を一つにすることで、音をそろえること」を大切に思っていることが分かり、どちらも「合唱コンクールを成功させたい」という同じ思いにつながっていることに気付いた**。二人は他の生徒も同じ思いを持っていることに気づき、**学級として取り組むべきことについて全員で話し合いたいという気持ちを強くした**。

【当該指導での「深い学び」】

この活動を通して、**生徒たちは一見、意見が異なっても、その理由をじっくり聞き合ったり、ていねいに話し合ったりすることで、共通点を見付けることができるということを学び、合意形成の質を高めた**。クラウド上で資料を作成したことにより、瞬時の共有化が図られ、共通点を見付けることが容易となったことで、合意形成を目指した話し合いに時間をかけることができた。

■指導上の工夫とICTの利活用

①一人一人が作成したダイヤモンドランキングを学級で共有し、まずは個人で学級の行動宣言案を作成する。

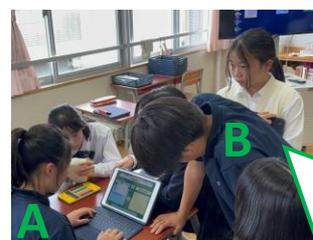
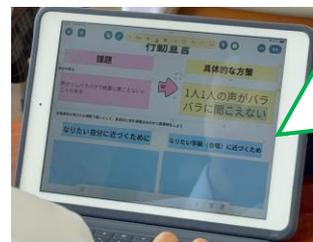
* 他の生徒の考えを知り、自己の考えと比較する活動を位置付け、自分の考えを深めていく。

②根拠となるダイヤモンドランキングを表示しながら、個人で作成した学級の行動宣言案について発表する。

* 根拠を明確にしながらか発表する活動を位置付ける。聞き手は自分の案との共通点や相違点を考えながら聞く。

③クラウド上で行動宣言案を確認・共同編集しながら小グループで話し合う。改めて学級全体で話し合い、行動宣言を作成する。

* 学級の生徒全員の意見を踏まえて、合意形成を図り、学級の行動宣言を決定する活動を位置付ける。



学習指導要領や解説との関連

学習指導要領 第5章 特別活動

第2の2の(1)

(1) 学級や学校における生活づくりへの参画

ウ 学校における多様な集団の生活の向上

生徒会など学級の枠を超えた多様な集団における活動や学校行事を通して学校生活の向上を図るため、学級としての提案や取組を話し合って決めること。

第3の1の(3)

学級活動における生徒の自発的、自治的な活動を中心として、各活動と学校行事を相互に関連付けながら、個々の生徒についての理解を深め、教師と生徒、生徒相互の信頼関係を育み、学級経営の充実を図ること。その際、特に、いじめの未然防止等を含めた生徒指導との関連を図るようにすること。